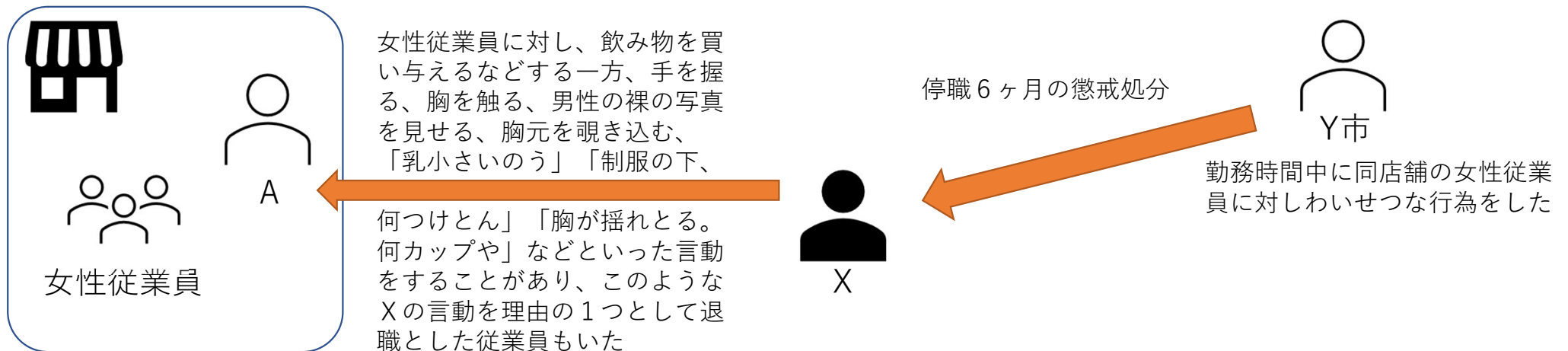


勤務中にコンビニ店員の手を触るなどして、停職6ヶ月とされた市職員が懲戒処分の取消を求めたが、懲戒処分は適法であるとして、訴えが認められなかった事案

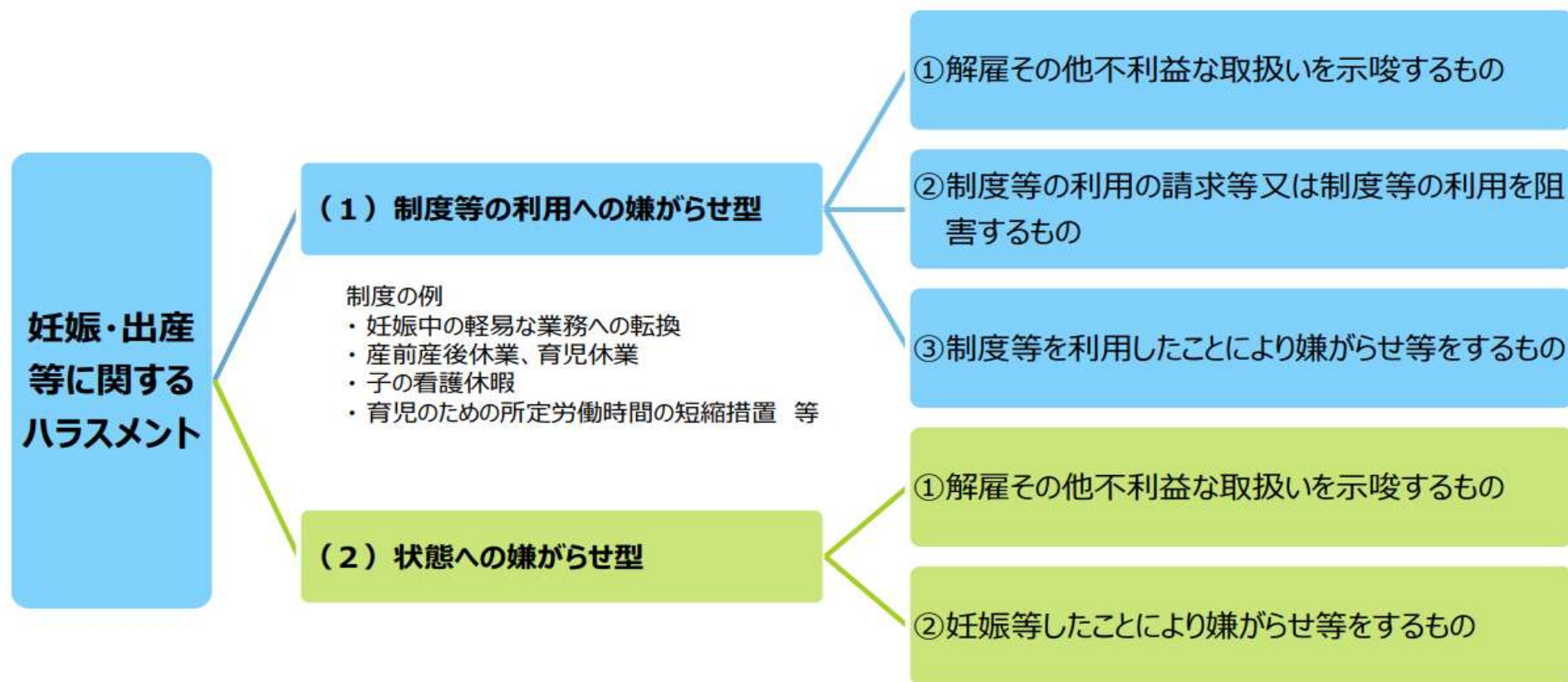
A市事件

最高裁三小 平30・11・6判決
労働経済判例速報2372号3頁

Y市の一般職に属する男性の地方公務員（一般廃棄物の収集、運搬の業務に従事する運転士）Xが、Y市内のコンビニエンスストア（以下「本件店舗」という。）にて、かねてより女性従業員を不快にさせる不適切な言動をしていた中で、勤務時間中に同店舗の女性従業員に対しわいせつな行為をしたことから、停職6ヶ月の懲戒処分（以下「本件処分」という。）を受けたため、同処分は重きに失するもので違法であるとして、Y市に対し、同処分の取消を求めた事案。



妊娠・出産等に関するハラスメントには、
「制度等の利用への嫌がらせ型」と「状態への嫌がらせ型」があります。



【参考】

妊娠・出産したこと、育児や介護のための制度を利用したこと等を理由として、事業主が行う解雇、減給、降格、不利益な配置転換、契約を更新しない(契約社員の場合)といった行為は「ハラスメント」ではなく「不利益取扱い」となります。
例えば、妊娠したことを伝えたら契約が更新されなかった、育児休業を取得したら降格させられた、等が不利益取扱いに該当し、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法違反となります。



なぜ職場のハラスメントが問題なのか？

職員への影響

- 心身の健康を害し、休職等に至る
- 職場環境の悪化

組織への影響

- モラルの低下⇒生産性の低下⇒業績の悪化
- 人材の流出
- 訴訟による賠償⇒業績の悪化
- 企業イメージの悪化⇒採用への影響

コンプライアンス上の問題

- 民法、刑法、就業規則違反



ハラスメント発生の背景

なぜパワーハラスメントが起きてしまうのか

- ✓ 「しごく」ことで人が動く（業績が上がる、生産性が高まる）という誤解
- ✓ 感情のヒートアップ コントロールのきかない否定的感情

職場環境

- ✓ 上司と部下のコミュニケーションが少ない
- ✓ 正社員や正社員以外の様々な立場の従業員が一緒に働いている
- ✓ 残業が多い・休みが取り難い
- ✓ 失敗が許されない、失敗への許容度が低い
- ✓ お互いを尊重し合う意識の欠如、異質なものの排除
- ✓ 指導・教育に名を借りたいじめ、集団的な職場いじめ



ハラスメントを予防するためには

パワーハラスメントについての十分な理解・関心を深め、他の労働者（※）に対する言動に必要な注意を払う。

（※）取引先等の他の事業主が雇用する労働者や退職者も含まれます。

- パワーハラスメントにならないためのコミュニケーション
- 円滑な職場コミュニケーションの醸成・業務上の指示や指導・教育の適切な方法の理解
 - ✓ 叱る対象・理由は適正な範囲かどうか
 - ✓ 自分の感情を認識する（怒り、怖れ、悲しみ、焦り、妬み）
 - ✓ 攻撃でなく「改善点を的確に指摘・指導」する
 - ✓ 相手を見て接し方を工夫する。
 - ✓ 不要な誤解を招かないコミュニケーションを心掛ける
- お互いの尊重、理解
- 自らの行為がパワーハラスメントとなっていないか注意
- 隠れたパワーハラスメントがないか、周囲のメンバーの変化に注意
- パワーハラスメントを起こさせない、職場環境づくりの役割を理解（管理職）





コミュニケーションの取り方

人物ではなく「事実」を評価しよう。

一方的に上司が部下に伝えるのではなく、本人からの言葉を引き出すようにしていく。

同時に、「事実」についての話し合いをします。

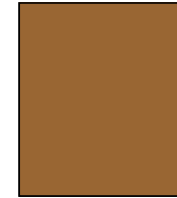
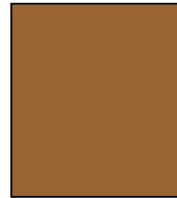
印象や人間性の話し合いは、お互いの基準が異なるので不毛に終わり、納得せず、行動も引き出されない。





コミュニケーションのスキル

- ①話し合いができる「場」を作る。
世間話や座り方に気を配る。



- ②コーチングのスキルを使う

傾聴

質問

承認

傾聴

相手を理解し、相手の言葉を引き出すために
「聴く」。コミュニケーション・スキルの中で
最も重要。

- うなずき、あいづち、アイコンタクト
何か言葉に出したことが受け入れられていると感じると、人は親しみを
感じる。親密感、信頼感への入り口になる。
- バックトラッキング
相手の言葉を繰り返すことによって、相手は聴いてもらったことを
感じ、共感を得ることができる。
- ペーシング
相手と自分が同じペースで話したり、口調が合っていると、
安心感や、一緒にいるという感覚が生まれる。
- 共感
まずは相手の気持ちを受け止め、示す。
「それは大変だったね」「本当にそうだね」「悔しいね」

質問

適切な質問によって、
相手から情報やアイデア、解決策や意欲を引き出すこと。

●クローズドQ

「はい」「いいえ」で答えられる質問が、クローズドクエスション

<例>評価は〇〇点です。△△が課題です。来期はちゃんとできますか？

●オープン Q

「はい」「いいえ」で答えられない質問が、オープンクエスション

<例>よい点はどこだと思う？何が課題だと思う？来期はどうしたい？

●未来質問

「なぜそうした？」など過去を聞くのではなく、未来志向で聞く

<例> 次はどうしようと思う？

承認

相手の仕事をよく観察し、個々の多様な持ち味、強み、長所、成長などを心にとめ、具体的に伝えること。

●YOUメッセージ

「あなたは素晴らしい」、「あなたはよく頑張った」などのようにメッセージの主体が「あなた」となるメッセージ。

●Iメッセージ

YOUメッセージの後ろに「私は元気づけられた」、「私は鼻が高い」などがつき、メッセージの主体が「私」となるメッセージ。

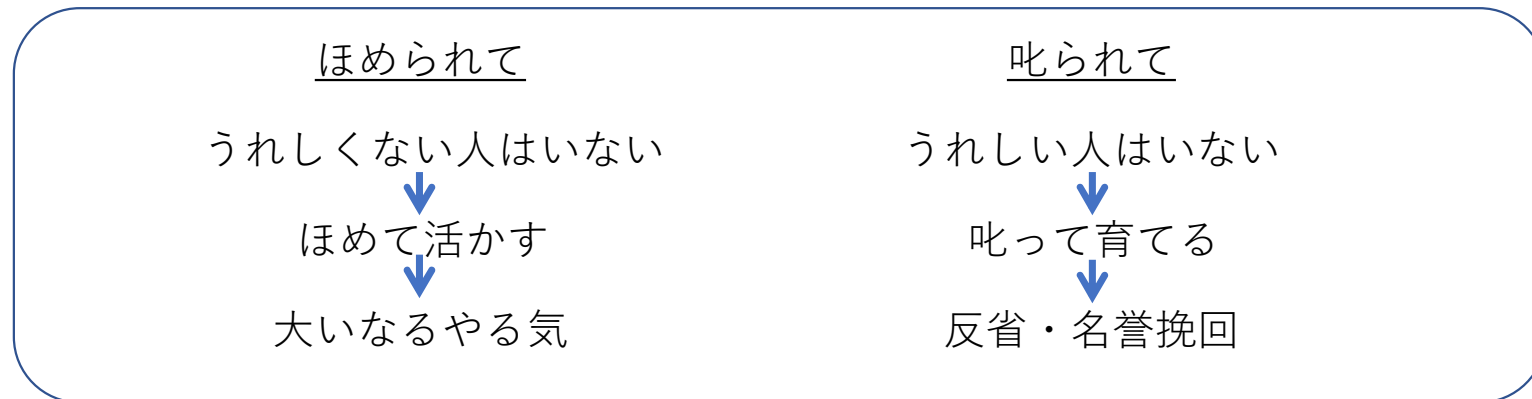
●WEメッセージ

「周りの皆もよろこんでいた」
「お客様からも評判が高かった」
などのようにメッセージの主体が「組織」や「周り」となるメッセージ。



ほめ方、叱り方

「ほめる」「叱る」はやる気をおこさせる有力な方法である。しかし、**ほめるのはおだてることではなく、叱るのは怒ることではない。**



「ほめる」 予想した、またはそれ以上の成果が上がったときほめる

- 成果だけでなく、努力の過程についてもほめる
- タイミングよくほめる

「しかる」 行動や態度について叱るのであって、人格を傷つけたり、否定するような叱り方をしない

- 事実に基づいて具体的に叱る
- タイミングよく叱る

ハラスメントの対策 起きてしまったら

ハラスメントを受けた人は

- はっきり意思表示をしましょう。我慢していても解決しません。
逆にエスカレートする可能性もあります。
- 記録を残しましょう。
- 一人で悩まず、上司や相談窓口**に相談しましょう。**

ハラスメントに気付いた人は

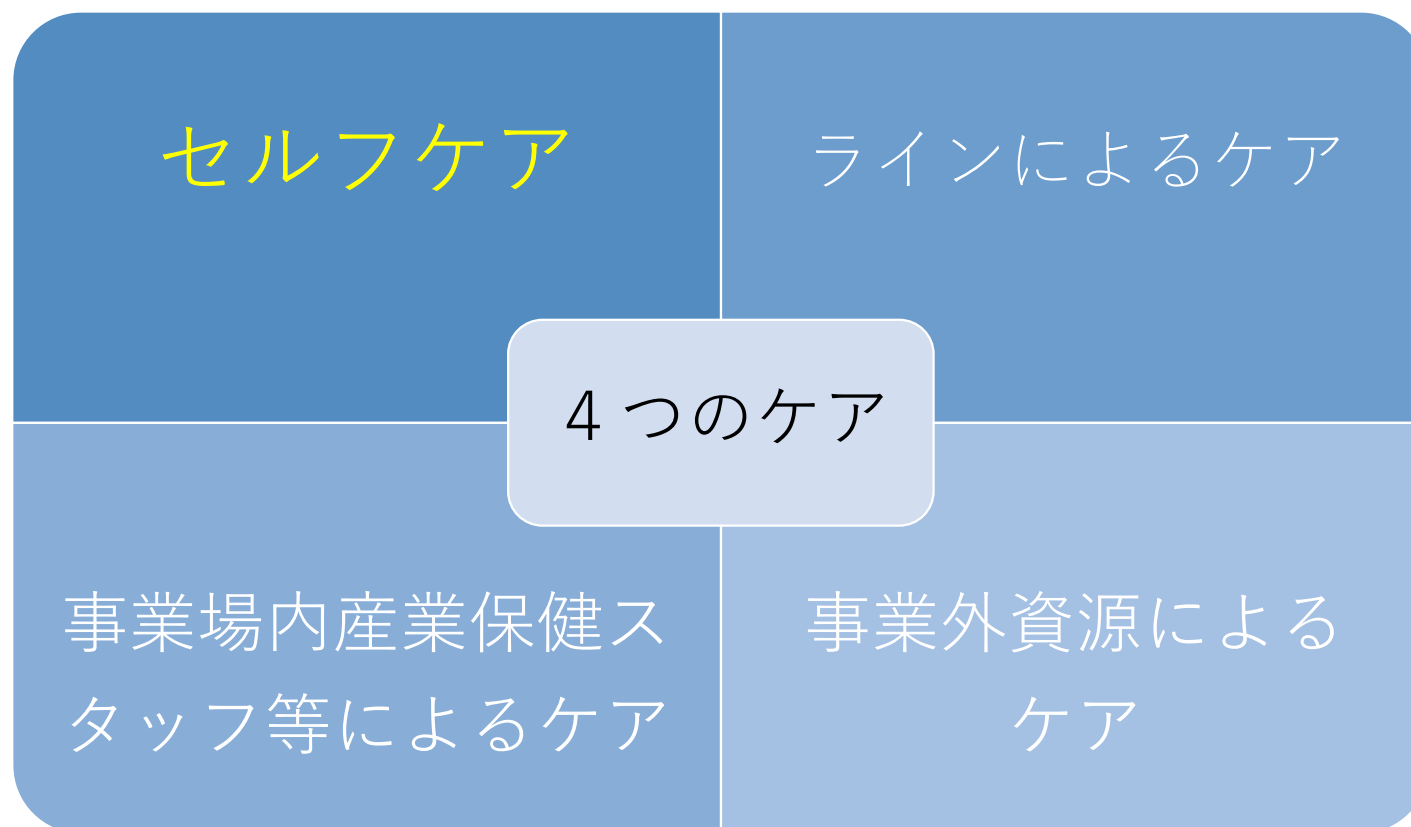
- 見て見ぬふりをしていては職場環境が悪化してしまうかもしれません。
他人ごとではなく、自らにも降りかかってくる可能性もあります。
受けている人から**きちんと声をかけてあげましょう。**

ハラスメントを受けた人から相談があった場合

- 公平、迅速な対応を心がけましょう。
- ゆっくり時間をかけて相談者の話を聞きましょう。**自分の価値観は入れない。
- 相談者の了解を得て、上司や相談窓口**に報告し対応について相談しましょう**
- 個人情報には十分注意しましょう



メンタル不調を起こさないために



※「職場における心の健康づくり～労働者の心の健康の保持促進のための指針～」をもとに作成

セルフケア

体を動かす

•運動には、ネガティブな気分を発散させたり、こころと体をリラックスさせ、睡眠リズムを整える作用があります。とくに効果的なのは、体の中に空気をたくさん取り入れながら行う有酸素運動。

今の気持ちを書いてみる

•もやもやした気持ちを抱えて苦しいときは、それを「紙」に書いてみましょう。自分なりの言葉で書くことがいちばんですが、文章を書くのが苦手なら、イラストやマンガ、あるいは意味のない「落書き」や「書きなぐり」でも。要は頭の中で考えるだけでなく、実際に「手を動かす」ことが大切です。

腹式呼吸をくりかえす

•不安や緊張が強くなると、運動をしているわけでもないのに、「ハアハア」と息が上がってくることがあります。呼吸も浅く、速くなり、汗が出てきて心臓もドキドキ。つらいと思いますが、こんなときこそ意識して「深い呼吸」を心がけてみてください。やり方は簡単。椅子に腰掛けている場合は、背筋を伸ばし軽く目を閉じ、おなかに手を当てます。立っている場合も、リラックスしておなかに手を当ててみましょう。

音楽を聞いたり、歌を歌う

•「音楽」は、ごく自然に、人のこころと体を癒してくれます。
•そのときどきの気分にあった曲を選んで、音楽にひたしましょう。ゲームやパソコンをやりながら、本を読みながらという片手間ではなく、ただ音楽を聞くことに集中するのです。

「なりたい自分」に目を向ける

•問題を抱えていると、その原因探しにやっきになることや、自分の弱さや欠点ばかりに目が行きがち。でも、実際のあなたは、その問題以外のことで、けっこううまくやれていることがたくさんあるではありませんか？
•その「できていること」のほうに目を向けて、自分の力をもう一度信じましょう

失敗したら笑ってみる

•「笑い」はこころを軽やかにして、つらい日々を乗り越える力をつけてくれます。どんなにシリアスに見える出来事でも、見方を変えたと、笑える側面があるもの。それに気づくと、物事がグッと楽になるのです。
•もし失敗してしまったら、自分を責めたり恥じたりするのではなく、いっそのことそれを潔く認めて、「やっちゃった自分」を笑い飛ばしてしまいましょう。